

## 事業報告書

|                 |   |
|-----------------|---|
| 1 支援団体名         | 徐福・湿原の森づくり会   |
| 2 事業名称          | 防災・文化講演会  |
| 3 支援金額          | 200,000円  |
| 4 実施日時          | 2009年7月18日及び11月23日  |
| 5 実施場所          | 巨勢川調整池管理棟   |
| 6 事業目的、内容及びその効果 | <p>(事業実施状況・内容)</p> <p>7/28[防災文化講演会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一階会場で筑後川河川事務所佐賀庁舎流水調整課長の小路満広氏より巨勢川調整池の完成報告、及び当調整池の機能について説明を受けた。</li> <li>・同庁舎技術副所長の酒井正二郎氏の案内により、屋上で調整池の各施設の説明を受けた。又、二階の操作室で、佐賀導水事業の説明を受けた。</li> <li>・一階会場で佐賀市文化振興課文化財係の中野充氏より当調整池内で発掘された東名遺跡について、時代背景を含めた詳しい説明を受けた。</li> </ul> <p>11/23[防災文化講演会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国交省小路満広氏より、金立中心に降った7月豪雨での巨勢川調整池の役割の説明を受けた。</li> <li>・小路より、屋上での施設説明、操作室の説明を受けた。</li> <li>・佐賀市文化振興課前田係長より、8/23に一般開放された東名遺跡ガイダンス展示の展示物を見ながら、遺跡の説明を受けた。</li> </ul> |
|                 | <p>(事業実施効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災講演会では巨勢川調整池について屋上からの見学や、二階操作室の見学ができ、施設をより身近に感じることができた。</li> <li>・金立中心に降った7月豪雨での調整池の役割が具体的な形で理解できた。</li> <li>・文化講演会では、東名遺跡について、ガイダンス展示物で説明を受けたので実感を持って確認できた。</li> <li>・以上の内容により、8月25日よりの巨勢川調整池管理棟での防災・文化ボランティアをより充実することができた。</li> </ul>  |
| 7 参加内訳          | <p>総人数 (7/18) 58名 (11/23) 81名</p>   |
|                 | <p>(1) 主催者参加 (7/18) 6名 (11/23) 10名</p>  |
|                 | <p>(2) 日本人参加 ((1)を除く) (7/18) 52名 (11/23) 71名</p>  |
|                 | <p>(3) 外国人参加 ((1)を除く) 0名</p>  |
| 8 今後の方針         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も毎年2回、防災・文化を中心とした講演会を実施する。</li> </ul>   |

会場展示物



国土交通省よりの説明風景



遺跡説明の佐賀市文化振興課の中野氏



遺跡説明風景



佐賀導水操作室での説明



屋上での説明

